

団体名:BLUE BASE

コミュニティスクール意見交換会

■活動の内容

「ひとりひとりが一歩を踏み出し、力を合わせることで、どの世代でも、どんな人でも暮らしやすく柔軟に進化するまちをつくっていく」ことをコンセプトとし、地縁組織と協力してまちづくりに取り組む人の交流会、情報交換、勉強会などの活動をされています。今回は毎月1回開催しているオンライン勉強会の特別会として、外部講師を招いての意見交換会を視察しました。

- 日時 令和5年8月16日(水)13時~15時
- 場所 中村生涯学習センター
- 内容 コミュニティスクール意見交換会
- ゲスト 白上昌子さん
- 参加 14名

■活動の様子

普段オンライン会議に集っているメンバーも参加の意見交換会。まず自己紹介から・・・と一人ずつ開始。聞いていくうち、ほぼ全員が何かしらの団体を立ち上げている、もしくは既に活動を実践している方々の集まりであることが判明。大学でキャリア相談に従事している人、こども園の管理栄養士さん、子育て団体の代表、外国籍の子ども支援の実践者などなど。その把握のもと、ゲストである、白上さんの『マチの中に役割と出番を。子どもが育つ環境をどうデザインする?』が始まりました。「食事は何を食べるかでなく、誰とどのように食べるかが重要」「いろんなつながりを持つ=学力向上につながる」「子どもの貧困問題は思っているよりずっと身近な脅威で、その根っこはジェンダー問題」などなど・・・。時を忘れ、話に引き込まれていく参加者たち。活発な意見交換がなされました。

BLUE BASEさんの「まちの担い手」を支援する活動は、それぞれの地域で活動する人を繋げ、応援するもので、対面で実施の今回の意見交換会は正にその活動の一端を知ることができるものでした。

